

2019 年度 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

事業報告書(案)

特定非営利活動法人 NPO サポートセンター



1. 情報発信・啓発

1.1 NNネット(「社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク」)

NPO/NGO の社会的責任(SR)向上を目的に、幹事団体として活動に参画した。2019 年度は会計を担当し、ネットワーク全体の会計・決算業務を行った。また NPO のガバナンス強化に関するセミナーの企画実施も担当し、強化の要点や国内外の動向に関する報告、取り組みに向けた意見交換を行った。

■連続SRセミナー2019

年間合計4回開催された連続セミナーのうち、以下2回のセミナー企画を担当した。

- ・第1回 NPO/NGO に欠かせない「ガバナンス」をどう進めるか(2019年9月17日)
- ・第3回 実践しよう！NPO/NGO のガバナンス強化～理事会改革の事例に学ぶ～(2020年1月14日)



1.2 NSR(NPO への社会責任)取り組み推進プロジェクト(NSR研究会)

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]およびダイバーシティ研究所が主催する、同研究会に職員が参画。隔月の勉強会および参加団体の取組みに対するピアレビューを実施した。当センターの取組み報告では、理事会改革、規定整備、他の NPO に対する事務サポート等の状況を共有した。

1.3 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ(SIMI)

日本における社会的インパクト評価の普及啓発を目的とした、ネットワーク組織「社会的インパクト評価イニシアチブ」に、運営団体として参画。全体会合等に参加し、ロードマップの実行等に関わった。

1.4 寄付月間 2019 -Giving December-

寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために、NPO、大学、企業、行政などで寄付に係る主な関係者が幅広く集い、12月1日から31日の間に行う全国的なキャンペーン。NPO サポートセンターは、賛同パートナーとして参画した。

1.5 民間NPO支援センター・将来を展望する会(CEO会議)

全国の民間支援センターのCEOが集まる、同会議(事務局:日本NPOセンター)に事務局長が参画した。

◆第35回 :2019年9月19日、20日(会場:東京)

主な協議事項:市民セクターの信頼性に関する課題とNPO支援センターが行うべきこと、
災害時のNPO支援センターの役割について

◆第36回 :2020年1月8日、9日(会場:岡山)

主な協議事項:SDGs達成に向けた情報共有と基盤整備、休眠預金等活用の業務開始をふまえた
NPO支援センターの課題と展望

1.6 NPOのためのICT支援者ネットワーク

NPO等の組織がICT活用を通じて、業務効率化および成果の拡大を実現することをサポートする全国の支援者のネットワーク(事務局:日本NPOセンター)に、参画。

「ICT利活用ガイドラインを用いた普及・啓発」、「NPOとIT企業のダイアログ」などを実施した。

1.7 第3回「社会課題の解決を支えるICTサービス大賞」

NPO等が取り組む社会課題解決のための事業や活動を支えるICTサービスの表彰を行うことにより、社会課題の解決を支えるICTサービスの健全な発展と成長を目指し、第3回「社会課題の解決を支えるICTサービス大賞」を実行委員会と共催にて開催した。



▼受賞結果

《大賞》

みんなで作るバリアフリーマップ「WheeLog!」(一般社団法人 WheeLog)

《NPO 運営部門》

・部門賞

LINE WORKS (ワークスマバイルジャパン株式会社)

・特別賞

NPO 法人向けの会計ソフト「会計王 NPO 法人スタイル」(ソリマチ株式会社)

《災害支援・緊急救援部門社会課題解決部門》

・部門賞

みんなで作るバリアフリーマップ「WheeLog!」(一般社団法人 WheeLog 様)

《災害支援・緊急救援部門》

・部門賞

該当なし

・アイデア賞

平常時から災害時を繋ぐ地域 ICT サービス「結ネット」(一般社団法人 shien)

1.8 全国 NPO 事務支援カンファレンス

社会課題解決に取り組む NPO 等が、多様なステークホルダーと連携し成果を生み出す上で、組織基盤を形成する事務能力の重要性が一層高まっていることに注目し、全国の支援組織と連携した事務支援のネットワーク(事務局:岡山 NPO センター)の構築・運営に、世話人として参画した。

主に、「NPO 法人事務力検定」、「事務力セミナー」、「事務支援カンファレンス」を開催した。

1.9 外部メディア寄稿・取材対応

【協働ステーション中央事業】

■2019年5月17日 毎日新聞朝刊地方版

「公共的課題に協働へ NPOとメディア、強み生かし」

■2019年4月号 Greater 日本橋マガジン NO.5

「美しい人、大集合」にて協働ステーション中央の紹介

1.10 WEB サイト、SNS の運用

Webサイト、facebook、Twitter 等を運用し、組織および事業内容、セミナーやイベントなどの活動情報を配信した。

(1) Web サイト

- ・UU(ユニークユーザ)数 : 20,363
- ・PV(ページビュー)数 : 52,109

(2) Facebook ページ

- ・リーチ数 : 12,000-16,000 / 月間

(3) Twitter アカウント

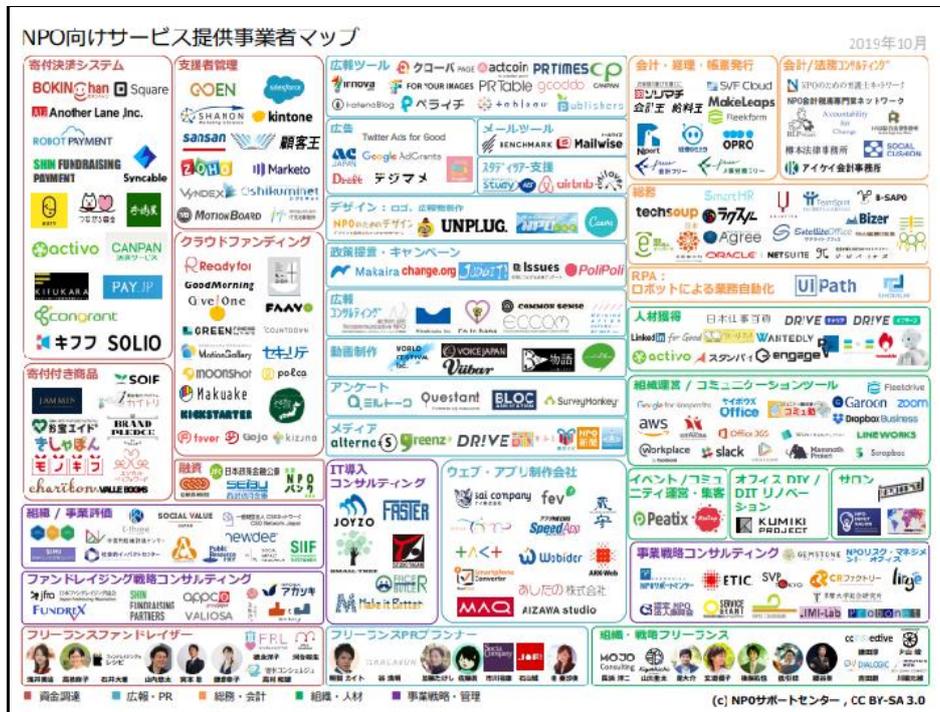
- ・ツイートインプレッション(表示回数) : 32,000-48,000 / 月間



1.11 その他

◆「2019年度版：NPO 支援サービスの業界マップ」の作成

主に首都圏を中心とした、NPO 向け支援サービスを整理したマップを作成し、全リンク付き PDF 版を公開した。2018年版から **NPO 向けサービスが 50 サービス以上増加し、32 分類、261 サービスを掲載**。各サービスの普及と活用に欠かせない「フリーランス」の新分類を設定した。



- ◆“新理事”新体制記念のトリプルコラボの特別番組「事業承継の夜明け！ 迫りくる日本の跡継ぎ問題」を放送



放送日時：2019年8月29日(木)18:00 生放送

テーマ：事業承継の夜明け！ 迫りくる日本の跡継ぎ問題

出演：松本祐一(NPOサポートセンター 代表理事 / 多摩大学経営情報学部教授)、川田史郎(NPOマーケティングコンサルタント)

制作：NPOサポートセンター×株式会社VoiceJapan

企画：JOE ISHIYAMA PLANNING OFFICE. Inc

技術：株式会社VoiceJapan

- ◆新しい法人寄付のかたち「コーポレート・クリエイティブ・ドネーション」企画



2019年12月、株式会社ニコシスが、名刺等ビジネスツールの制作費の一部をNPOに寄付する「コーポレート・クリエイティブ・ドネーション」の寄付先団体にNPOサポートセンターを選定。創業から第10期を迎えた同社はロゴやコーポレートスローガンを一新するとともに、新調する名刺等ビジネスツールの制作費の5%を当センターへ寄付。名刺には寄付選定先として当センターのロゴが記載された。

2. 基盤強化事業

2.1 支援者管理データベース（セールスフォース）普及事業

NPOの活動を支える「会員」「寄付者」「イベント等の参加者」「事業管理」などの支援者管理機能を提供する支援者管理データベース(Salesforce)の普及事業に取り組んだ。支援者管理データベースが、NPOに普及することで、「データに基づいた戦略的な事業展開」、「支援者との柔軟なコミュニケーション」、「効率的な業務運営」の実現を目指した。

2019年度は、研修プログラムなどの支援コンテンツのリニューアルに取り組み、より実践的なサポート提供体制の整備に取り組んだ。

(1) Salesforceの利用団体の拡大

Salesforceの利用団体を増やすために、セミナーの開催、情報発信の強化などに取り組み、国内の導入累計団体数が約1,400団体となった。また、首都圏だけではなく全国各地への普及がすすんだ。

【継続的な研修の開催(8回開催)】

東京を中心に、全国各地で研修(スタッフ向けトレーニングプログラム)を開催し、のべ100名以上が受講した。新規導入団体のスタッフだけではなく、導入済み団体の新任スタッフなどの受講も得られた。

●1DAY 速習コース(初級編)

内容:会員・寄付管理、イベント参加者管理、カスタマイズ基礎

●1DAY 速習コース(中級編)

内容:レポート活用、管理者基礎、カスタムオブジェクト入門

【研修プロプラグのリニューアル】

2011年の開発以来、9年ぶりに研修プログラムの全面リニューアルを実施した。事例の最新化、新機能やインターフェースへの対応、より実践的な演習の導入などをおこなった。

2020年2月より、新プログラムを提供した。

(2) 個別導入・活用支援の実施

Salesforceを活用したNPO団体向け支援サービスを実施・展開した。

【導入・運用サポートサービスの提供】

ハンズオン形式による、Salesforce 導入・運用のサポートサービスを提供。

ファンドレイジング戦略の策定、データベース導入、運用の定着化支援など、団体のニーズに応じて柔軟な個別支援を実施した。国際協力、環境、福祉、教育、就労支援、文化芸術団体など **21 団体** の支援をおこなった。

▼支援例

- ・野外体験活動団体の、「ボランティア活動管理」、「参加者管理」
- ・医療団体の、「面談履歴管理」、「個別支援実績管理」
- ・福祉団体の、「面談履歴管理」、「カルテ管理」
- ・文化芸術団体の、「公演管理」、「チケット販売管理」、「営業管理」、「寄付者管理」
- ・まちづくり団体の、「企画管理」、「地域資源管理」
- ・地域メディア団体の、「コンテンツ管理」、「番組管理」、「出演者管理」
- ・環境団体&国際協力団体の、「会員管理」、「寄付者管理」、「セミナー参加者管理」 など

【パートナー団体との連携強化】

パートナー団体の連携を強化することで、NPO 向けパッケージの開発・普及、システム開発を伴う個別支援、サポート体制強化などに取り組んだ。

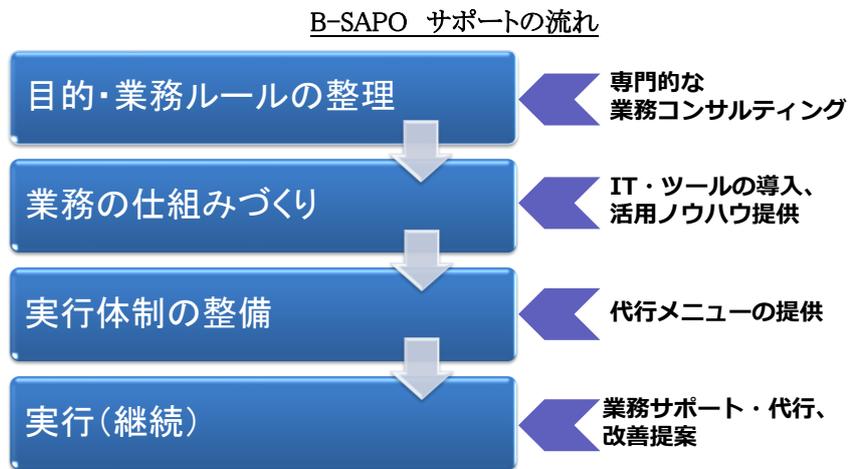
2.2 事務局運営サポート事業 (B-SAPO)

NPOなどの社会課題に取り組む組織に対し、事務局運営を効率化、安定化させ、持続可能な組織となるためのバックオフィスサポートサービス(B-SAPO)を提供した。

バックオフィス業務について組織の現状、体制、課題等のヒアリングや診断を実施した上で、非営利組織向けのデータ管理ソフトやクラウド会計など、バックオフィスを効率化するツールも活用しながら、最適なサポートを行った。

今年度は、本事業担当スタッフが増え体制の強化を実施し、より多くの組織に対してサービス提供を行うことができた。あわせて、パンフレットやwebサイト構築などのコンテンツを整備し、バックオフィス業務の外部支援

者活用についての意義などのセミナー等、情報発信・啓発活動にも取り組んだ。



(1) 個別支援

バックオフィス業務の内、「会計事務」、「会員・寄付者管理」、「情報システム」などで、昨年度から 1.5 倍増の約 30 団体の支援を実施した。

■会計事務サポート・代行

会計ソフトの選定・導入から日常の会計業務の手順化、記帳などの作業代行業をサポート。支払作業や会計書類の整理、経費精算などの会計付随事務や決算代行も行う。

会計事務サポート・代行 サービス事例

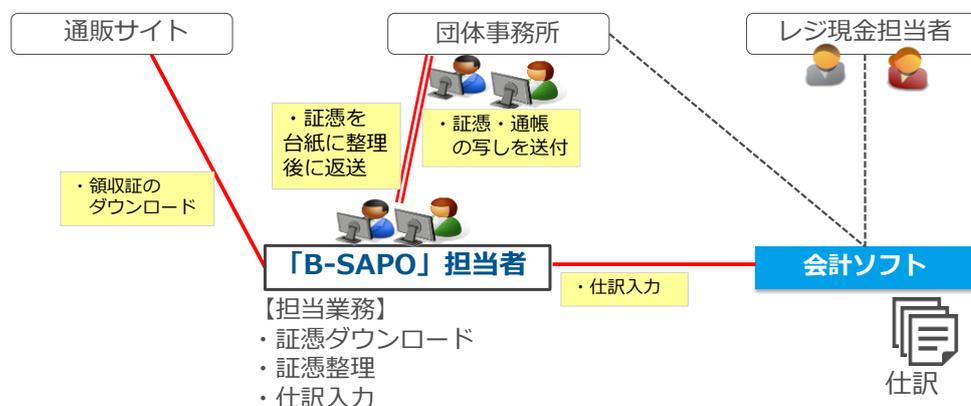
活動分野 : 子ども、教育

メンバー数 : 19名

検討の背景&課題

- ・複数の保育園を運営する非営利法人
- ・現金関係はレジ担当者、銀行口座のお金の動きはB-SAPOが担当
- ・遠方に所在

B-SAPO活用内容



■会員・寄付者管理サポート・代行

支援者を管理するデータベースへの支援者データの登録、決済データの連携、寄付実績の入力などをサポート。会費納入依頼などの請求書や会費・寄付の領収書発行・送付も実施。

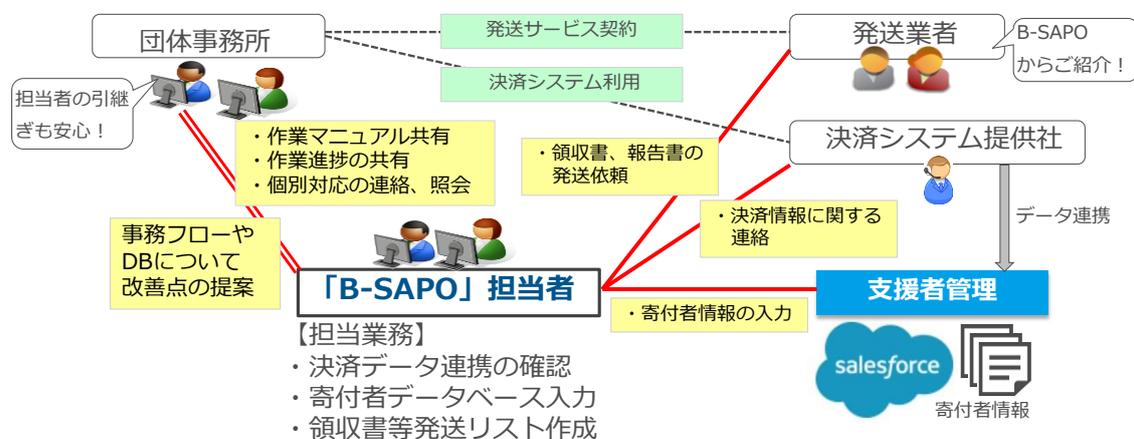
会員・寄付者管理サポート・代行 サービス事例

活動分野 : 復興支援、子ども支援 メンバー数 : 8名 (代表理事含む)
 マンスリーサポーター : 1,000人以上

検討の背景&課題

- ・特に寄付の増える時期に、問合せ対応、寄付金額変更の対応、寄付への御礼、領収書発行、支援者データベース入力などの作業が大幅に増える。(最大で通常時の約8倍)
- ・寄付対応担当者はいるが、繁忙期に人手が不足。より寄付者満足度を高めるコミュニケーションや戦略づくりに時間を割けるよう、事務を見直したい。

B-SAPO活用内容



■情報システムサポート・代行

IT 全般の相談対応、IT ツール・機器の選定など専門性を持ったスタッフが相談役を担当。

(2) NPO 法人事務力検定

経理、登記、労務、所轄庁手続きなど NPO 法人に必要な事務手続きについて、その理解度をチェックする「NPO 法人事務力検定」を岡山 NPO センターと連携し開催した。また、検定試験にあわせて、事務局運営に関する研修を開催した。

(3) NPO 法人会計力検定

NPO 法人会計担当者の実務に関する知識やスキルを客観的に評価し、個々の会計担当者の力量を向上させることを目的とした検定。一般社団法人 NPO 会計力検定協会が主催する「NPO 法人会計力検定」に共催し、東京開催を実施した。

(4) 情報発信・啓発活動

B-SAPO サービスを広報するためのパンフレット・web サイトを今年度新たに作成した。サービス詳細や利用者の声を掲載し、サービスの具体的なイメージを持ちやすいコンテンツとなるよう努めた。また、展示会出展やセミナー講師を実施し、バックオフィス業務運営のポイントや外部支援者活用の意義などの啓発活動を実施した。また、日本有数のネットワーク NGO である認定 NPO 法人国際協力 NGO センター (JANIC) と連携し、JANIC 会員向けの相談プログラムを企画・実施した。

サービス紹介パンフレット



サービス紹介 web サイト



■展示会出展

- ・2019年9月14・15日:ファンドレイジング・日本2019(NPO法人日本ファンドレイジング協会主催)
- ・2019年11月15日:BUSINESS to NPO World 2019(NPO法人NPOサポートセンター主催)
- ・2020年1月23日:NPOの支援メニュー・講師の見本市・相談会(NPO法人CRファクトリー主催)
- ・2020年2月14日:HAPIC—HAPPINES IDEA CONFERENCE(NPO法人国際協力NGOセンター主催)

■セミナー登壇

- ・2019年7月3日:NPOのためのバックオフィス講座(府中市市民活動センター プラッツ主催)
- ・2019年12月23日:2020年代の環境NPOの仕事ゼミ(第1回)～バックオフィス支援の最前線(NPO法人よこはま里山研究所(NORA)主催)

3. 人材育成・NPO支援事業

3.1 Good Business Studio

社会課題の解決をめざす事業に取り組む、人と組織を対象とした研修プログラム「Good Business Studio」を開催した。NPOや企業、行政が取り組む社会的な事業の”困りごと”を解決し、事業を前進させることをコンセプトとしており、少人数のゼミプログラムを特徴とする。今年度は年間で25のプログラムを開催し、新しい試みとして、講座・ゼミの一部でオンライン配信を開始した。特にゼミでは、事業の困りごとを組織・チームで解決することを促すため、同一組織から教室で1名が受講、オンラインで複数名が受講できる「団体プラン」を新設した。さらに、関東(1都6県)をのぞく中間支援組織と施設(NPO支援センター、ボランティアセンターなど)を対象に、オンライン配信講座をサテライト中継する取り組みも開始し、8団体にご協力いただいた。東京での研修受講が難しい、地元のNPO団体、ボランティア活動団体の皆様にも、研修を届けることを目的としている。今後は、団体プランの普及をより強化するとともに、オンライン配信にも適した内容の研修開発を推進する。

■実施概要（講座/ゼミ）

< Good Business Studio2019 >

開催期間: 2019年4月～2020年3月

講座数 : 25 (うち講座 8、ゼミ 17) 参加者数(のべ): 506人

会場 : 主に NPO サポートセンター 田町オフィスにて開催



学びを現場に共有しやすく、多様な働き方に対応した新プラン



Good Business Studio | 団体プラン対応ゼミ

同一の団体から、現地参加1名
+ オンライン参加複数名で受講できる！

各講義に、毎回1名現地参加者が必須



Aさん：業務担当者、
教室で現地参加

生放送時間
+ 期間内なら
何回でも
視聴可!

Bさん：事務局長、
事務所から視聴

Cさん：リモートワー
ク勤務、自宅から視聴

Dさん：活動現場勤務、
すきま時間に視聴

■講座/ゼミ内容（複数回開催のテーマあり）

< Good Business Studio2019 > ★は団体プランに対応

講座	新聞事件記者と考える政策実現「世論を喚起するキャンペーン報道とその連携可能性」【オンライン受講対応研修】
	NPO 法人の手続き・事務を1日で学ぶ「NPO 法人事務力」セミナー（検定試験あり）
	社会的インパクト時代のマネジメント。自分とチームと社会が成長する事業づくりと組織づくり入門【オンライン受講対応研修】（共催：一般財団法人 CSO ネットワーク）
	忙しい NPO のための「伝わる」広報・マーケティング事例
	伝える、選ばれるための言葉をみがくキャッチコピー入門【オンライン受講対応研修】
	災害時における中間支援組織の12の役割・解説【オンライン受講対応研修】

ゼミ	事業成功に欠かせない知識と技術「プロジェクト・マネジメント実践」
	心を動かす言葉、行動を促す文章をみがく「キャッチコピー制作ゼミ(基礎)」
	OJT だけでは身に付かない！戦力を育てる「NPO 新任スタッフ研修」
	ストーリーが浮かぶ広報コンテンツをつくる「グラフィックレコーディングゼミ」
	小さな組織の「SNS 情報発信チームづくり」プログラム
	普段の会議が劇的に変わる！「ファシリテーションを支える会議の技術」
	厳しいルールに対応し、月 1 万ドルを成果につなげる運用ノウハウ！「Google Ad Grants 目標達成ゼミ」
	「社会課題解決×ムーブメント」を導くリーダーシップ！システム思考(基礎)
	★情報到達力と行動促進力を高める「メールマーケティング・メルマガ戦略ゼミ」
	★現場から政治、行政を動かす施策を考える「政策提言アプローチの事業戦略ゼミ」
	★意義を問い直し、成長させる「ソーシャルな事業のための基本戦略づくり」ゼミ
	変化が生まれる事業のカギはいつも現場にある！「社会的インパクト・マネジメントゼミ」(共催:一般財団法人 CSO ネットワーク)
	★活動の成果を測る、サービス改善を図るための「アンケート / ヒアリング実践プログラム」
	★CRM × ファンドレイジングを徹底解説！～支援者管理(DRM:Donor Relationship Management) の考え方の基礎～
	★チームのみんなで考える事業戦略「基礎から学ぶ中期事業計画作成ゼミ」
NPO の現場リーダー向け中期計画づくり研修	

4. コーディネート事業

4.1 中央区「協働ステーション中央」事業 委託

2010 年度以降中央区から委託を受け運営している。協働提案事業の実施に向けたコーディネートをはじめ、区内の社会貢献の推進、協働の普及促進を進める中間支援を行っている。

2019 年度は、昨年度に引き続き協働ステーション中央の認知度向上及び新規顧客の開拓に努めつつ、連携・協働による社会課題解決や価値創造を図る団体の事業基盤の強化テーマとした企画運営を行った。

(1) 相談事業 (実績)

新型コロナウイルス感染拡大防止による施設休館及び業務一部縮小の影響により数が減少した。

		2016(H28)年度	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
合計		146 件	231 件	328 件	206 件
内訳	設立準備	21 件	30 件	35 件	19 件
	資金調達	4 件	0 件	4 件	3 件
	運営・事業展開	101 件	63 件	91 件	83 件
	協働事業	40 件	37 件	25 件	16 件
	その他	62 件	101 件	173 件	85 件

(2) 人材育成事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サロン及び見本市が開催中止となったため、参加者団体及び参加者数が減少した。

業務	種別	2017(H29)年度			2018(H30)年度			2019(R1)年度		
		回数	参加団体	参加者数	回数	参加団体	参加者数	回数	参加団体	参加者数
人材育成	入門	2	20	55	1	26	33	1	21	30
	専門	5	50	84	5	98	140	4	92	109
	協働	3	18	42	3	44	63	3	51	74
	計	10	88	181	9	168	236	8	164	213
ネットワーク	サロン	1	26	48	1	35	55	0	0	0
	見本市	1	33	210	1	36	218	0	0	0
合計		12	147	439	11	239	509	12	164	213

■入門講座

【タイトル】パブリックスペースにつながりを生み出すプロジェクトのつくり方

【日時】2019年8月3日(土) 10:00～13:00

【講師】石田祐也(建築家/株式会社ヌーブ/一般社団法人ソトノバ共同代表)

【参加】30名(21団体)

【内容】パブリックスペース活用と事例講義/ワークショップ/懇親会

■専門講座

《1クール目》

【タイトル】事業づくりに活かすための調査法～社会や当事者のニーズの掘り起こし方を実践的に学ぶ～

【日時】2019年10月15日、24日、31日(全3回)

【講師】牛堂雅文((株)ジャパン・マーケティング・エージェンシー)

【参加】23名(22団体)

【内容】調査方法の基礎、質で捉える『インタビュー』調査、量で捉える『アンケート』調査

《2クール目》

【タイトル】 地域にひらかれた事業を育てる まちの課題解決アイデア発表会

【日 時】 第1回:2019年12月15日(木)13:00~18:00

【講師・講評】 松本祐一(NPO 法人 NPO サポートセンター 代表理事 / 多摩大学経営情報学部教授)
磯部一郎(株式会社福水戸家 代表取締役社長/人形町二丁目浪花会青年部 部長)
杉原志保(協働ステーション中央統括責任者/NPO 法人 NPO サポートセンター事業部
プロデューサー)

【参 加】 44名(31 団体)

【内 容】 ミニ講義/事業アイデア発表・講評/交流会

■協働講座

【タイトル】 社会課題を 組織を超えて解決する 事業のつくり方

【日 時】 2020年1月30日~2月13日(全3回)

【講 師】 五井渕 利明(一般社団法人 JIMI-Lab 代表理事 NPO 法人 CR ファクトリー事業部長・理事)

【参 加】 第1回:28名(19 団体)

【内 容】 立場による考え方の違いを理解する、社会の課題を構造で捉える、
構造に働きかける事業をつくる

(3) ネットワーク構築事業

■市民活動交流サロン(開催中止:新型コロナウイルス対策のため)

【タイトル】 協働で社会課題の解決に取り組む NPO×地域×企業×行政 マッチング交流会
(つながりマルシェ同日開催)

【内 容】 マッチング交流会

■見本市(開催中止:新型コロナウイルス対策のため)

【タイトル】 つながりマルシェ vol.4~活動のプラスになるヒト・コト・モノが見つかる1日~
(マッチング交流会同日開催)

【内 容】 ブース・パネル出展/社会課題プレゼン

■十思カフェ

開催日時			タイトル	参加	
				団体数	人数
2019/4/23	火	19:00- 21:00	企業と自治体でつくる Social Good なビジネスサイクル ~IT で地域課題を解決する取組み	16	26
2019/5/23	木	19:00- 21:00	メディア協働と社会的インパクト創出の可能性~キャン ペーン報道「旧優生保護法を問う」から考える	24	33

2019/6/18	火	19:00- 21:00	映像を社会課題解決に活かす～ドキュメンタリー制作の場面で求められる協働	17	33
2019/7/23	火	19:00- 21:00	介護人材の不足をコミュニティづくりと地域連携で解決する	23	36
2019/8/27	火	19:00- 21:00	「煙らない食事を楽しめる店」で新たなファンを開拓する～望まない受動喫煙をロコミで防ぐ協働の取り組み	18	21
2019/9/24	火	19:00- 21:00	外国ルーツの子どもたちの孤立を防ぐ～言語や文化の壁を協働で越える学習支援のかたち	16	22
2019/10/25	金	19:00- 21:00	都心部における地縁型コミュニティの未来～マーケティングとIT で新しい住民を巻き込む取り組み	21	27
2019/11/26	火	19:00- 21:00	協働が NPO 活動の成長や地域にもたらしたもの～15年にわたるデートDV 防止活動から協働の意義と成果を考える	9	14
2019/12/26	木	19:00- 21:00	行政と連携・協働で在日外国人を保健医療サービスにつなぐ～誰もが健康に暮らせる地域づくりに必要なこと	13	34
2020/1/28	火	19:00- 21:00	移動困難者を地域で支える～NPO が自治会や行政・事業者とつくる都市部の外出支援の仕組み	11	17
2020/2/27	木	19:00- 21:00	校庭を地域に開いた NPO・行政に聞く～自治体協働実現のための制度活用のコツ	14	21
2020/3/25	水	19:00- 21:00	孤育てを減らして虐待を防ぐ～日常生活に関わり親子を支える協働の取り組み	10	25

(4) 協働事業提案

相談団体数	6 団体
提案件数	2 件
採択状況 新規 2 件 継続 1 件	<p>(新規)</p> <p>(1) NPO 法人センター・オブ・ジ・アーツ「地域コミュニティ PTA(ピタ)っと！事業「ラン PAT2.0」</p> <p>(2) 中央区地域スポーツクラブ大江戸月島「部活動活性化事業」</p> <p>(継続)</p> <p>NPO 法人リーブ・ウィズ・ドリーム「中央区を知る、もっと知る、みんなで作り上げるバリアフリーマップ作成事業」</p>

4.2 自治体サポート事業

社会課題解決や価値創出のための主体や資源を育て、集め、それらが「事業」を通じて協創できるプラットフォームづくりを、自治体支援を通して実現する事業である。

今年度は、2つの自治体とパートナーシップを組み、助成金制度を活用した区民活動団体の組織及び事業基盤の強化支援、区民の学びの活かしを活動へとつなぐ「生涯学習施策の区民協働施策との連携のあり方」や、区民活動団体が連携・協働により地域課題解決を実現できる地域づくりを狙いとした施策改善支援を行った。

(1) 品川区

区の助成制度運営過程に直接関わり、申請時点をとらえ、団体の組織基盤・事業運営の強化支援を行った。

① 助成金セミナー・事前相談会実施委託

(ア) 助成金セミナーの開催

助成金制度改善の一環として、区民活動団体あて NPO の資金特性や資金調達、助成金の意義や申請に関する知識習得をねらいとしたセミナーを実施した。企画もサポートし、申請相談への動線とした。

【日時】 2019年4月10日(水)15:00～17:00

【参加】 25人程度

(イ) 助成金申請に関する事前相談会の実施

助成事業をきっかけとし、区民活動団体が組織の中長期的な計画を見据えることができるような申請事業づくりを伴走支援するため、専門スタッフによる相談を区とともに企画・実施した。また、この機会を捉えて区民活動団体の組織や事業運営の課題把握を行った。

【期間】 2019年4月15日(月)～22日(月)まで(土日を除く)

【相談件数】 22団体29件

② 区民活動助成制度報告会実施委託

採択団体の助成事業の成果と課題を次の事業に活かすため、区が実施する報告会の企画をサポートした。また、開催当日講評も行った。

【日時】 2020年1月31日(金)13:00～17:00

【発表団体】 採択団体12団体

③ 政策形成研修「協働」実施委託

協働の視点をもった施策形成能力の向上を図るため、協働に関する知識及び具体的な事例等を習得することを狙いとした係長級職員向け職員研修を実施した。

【日時】 2020年2月10日(月)14:30～17:00

【内容】 協働に関する講義／事例トーク／ワークショップ・講評

(2) 大田区

大田区では、区民協働と生涯学習の事業全体が連動し、総合的かつ計画的に施策を展開していく必要があるとし、各種取り組みを行ってきた。しかし、地域で主体的な学びに取り組む区民の地域活動につながっ

ているのか、地域活動をはじめとする多様な主体のネットワークを活かした地域づくりが進んでいるのか十分に検証されてこなかった。以上のことから、「協働」と「生涯学習」のありかたを2年間かけて整理し、地域づくりの未来ビジョンを設計することをねらいとした区民協働・生涯学習推進業務委託を行った。

① 区民活動コーディネーター養成講座に関する業務

豊かなコミュニティ・つながりをつくる社会参加の機会を増やすためには、また、複雑化する社会課題の解決を進めるためには、それぞれ異なる強みや価値観を持つ個人や団体が対等な関係で力を合わせる「協働・コーディネート」のスキルが欠かせないことから、人と人、個人と組織、組織間同士をコーディネートし、相乗効果を生み出すことのできる地域社会を構築するため、一般社団法人 JIMI-Lab と連携し、標記講座を開催した。講座は全8回開催し、うち7回は講座を開催し、1回は交流会を開催した。

(ア) 講座(全6回)

【日時】 2019年10月9日～12月4日

【内容】 協働・コーディネートの重要性、価値観・思い・ビジョンを共有する、地域社会を構造でとらえる・必要な情報を収集する、対話の場のファシリテーション、協働事業・コラボイベントの企画設計 など

【参加】 約30名

(イ) 交流会(全1回)

【日時】 2020年1月20日

【参加】 40名

② 組織経営講座に関する業務

地縁、血縁、社縁が希薄化・弱体化する現代社会の中で、ますます新たな人と人とのつながりが生まれる場として、必要とされる”コミュニティ”とその”担い手”。大田区で活動しているNPO団体や市民活動団体が抱える団体の課題を解決し、より良い団体運営を学ぶ場として、また、大田区内で活動する様々な団体の人たちが出会い、共に研鑽しあえる仲間となれる場として、NPO法人 CR ファクトリーと連携し、大田区・コミュニティマネジメント講座(全4回)講座を実施した。

③ 地域力応援基金助成事業に関する業務

大田区が運営する地域力応援基金助成事業令和元年度採択団体の継続審査の参考資料とするため、対象団体向け経過観察を実施した。経過観察とは、採択事業が申請どおりに進捗しているか、区が作成する「経過観察シート」にのっとり、実際に活動を訪問して状況確認するものであるが、実施にあたっては、これまで行われてきた経過観察そのものの目的・在り方、観察の視点、進め方等を再整理し、見直した。

団体訪問概要

【実施期間】 2019年11月9日～12月22日

【訪問団体数】14団体

④ 区民協働推進会議に関する業務

当業務では、令和元年度大田区区民協働推進会議の支援として、調査研究テーマであった「協働と学びの地域づくり～社会的包摂による持続可能な地域社会の実現に向けて～」に必要な取り組みを検証するため、区民活動団体及び生涯学習団体の活動の現状と課題を把握する「大田区の協働と学びの地域づくりに関する活動実態調査」を実施した。

大田区区民協働推進会議が2019元年度に設置した「福祉(個別支援)」「地域(地域支援)」「学び(生涯学習支援)」の3分科会のテーマごとに、区民活動団体及び生涯学習・社会教育団体を3団体ずつ計9団体を選定し、(1)アンケート調査(共通項目)、(2)ヒアリング調査(個別項目)を実施した。調査から、人材・資金の不足の解消、助成金依存の解消と資金調達ノウハウの習得、連携・協働の意向を実現する仕組みの構築、活動の組織や事業運営の基盤の強化、中間支援拠点の支援力強化が明るみになった。そのため、現状の施策を踏まえた改善提案を結果報告書としてまとめた。

会議実施概要

【実施期間】2019年9月19日～2020年2月25日

【実施回数】16回(団体等のヒアリング調査含む)

(3) 中央区

協働の視点をもった施策形成能力の向上を図るため、協働に関する知識及び具体的な事例等を習得することを狙いとした係長級職員向け職員研修を実施した。

【日時】2019年6月26日(水)13:30～17:00

【内容】協働に関する講義／事例提供／バリアフリーマップ作成ワークショップ／振り返り

4.3 Business to NPO 事業 (NPO 支援マーケット創出事業)

企業向けのサービス(BtoB)を提供する企業が、サービスや製品の提供を通じてNPOなどの社会的な事業体を支援する仕組みの構築、およびNPO支援マーケット(BtoN市場)の創出を目的に、事業を行った。

2019年度のNPO支援サービスの展示会は、2015年度の開催以来で最も多い出展社数を実現。ノベルティ作成のスポンサー獲得や、セミナー開催数の倍増など新しい取り組みに挑戦した。

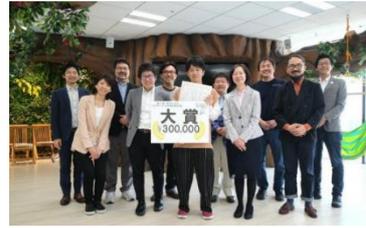
NPO支援サービスを普及する新しい施策「NPOサポート特設webサイト」の制作と運用支援を開始。NPOユーザーを増加させたい企業と連携し、NPOに特化したサービス紹介サイトを企画、公開している。

(1) 第2回 NPO による ICT サービス活用事例自慢大会

日時:2019年4月20日(土)13:00～18:30

会場:サイボウズ株式会社 東京オフィス(東京都中央区)

主催:NPOサポートセンター



NPO が組織・事業の維持発展を目指して ICT サービスの活用促進をすべく、NPO による活用事例を広く共有する場として、2018 年度に引き続き「NPO による ICT サービス活用自慢大会」を開催した。

■登壇団体 / 受賞結果

・NPO 法人 チャリティーサンタ【大賞】

サンタの働き方改革 ～より多くの子ども達へ想い出を届けるために～

・NPO 法人 アビリティクラブたすけあい

グループウェアを活用した事務局から都内 34 拠点への活動支援

・認定 NPO 法人 カタリバ

チャットツールで、カタリバらしい自由で軽快な対話を実現！

・認定 NPO 法人 かものはしプロジェクト

煩雑な作業からおさらば！契約書の作成、締結完了、保管がリモートワークで実現

・NPO 法人 Nature Service

ICT でキャンプ場再生！集客・顧客サポートを最大化しほぼ自動化に成功、売上を倍増させる！

■審査員・コメンテーター

・山田 泰久氏(日本財団 CANPAN プロジェクト)

・中山 勇魚氏(NPO 法人 Chance for All 代表理事、第 1 回大会大賞受賞)

・江口 晋太郎氏(TOKYO beta Ltd. 代表)

・宝楽 陸寛氏(NPO のための ICT 支援者ネットワーク 共同代表)

・上田 敬氏(日本経済新聞社 編集局 編集企画センター 担当部長)

■協賛企業・団体(9 社)

サイボウズ株式会社 / freee 株式会社 / 株式会社 GoodMorning / 株式会社 KDDI
ウェブコミュニケーションズ / NPO 法人 Co.to.hana / snuggle 株式会社 / 株式会社ベ
ンチマークジャパン / 一般社団法人日本 PMO 協会 / あしたの株式会社

(2) BUSINESS to NPO World 2019

日時:2019 年 11 月 15 日(金)13:00～19:00

会場: 聖心女子大学グローバルプラザ(東京都渋谷区)

主催:NPO サポートセンター



11月15日、企業や団体が提供するNPO支援サービスの展示会「BUSINESS to NPO World 2019」を開催。当日は、NPO関係者など約330名が参加。例年実施している企業や団体のプレゼンテーション、ブース展示(40企業・団体が出展)に加え、今回はNPOスタッフ同士の交流会(Meetup)を新たに企画。また「第3回社会課題の解決を支えるICTサービス大賞 表彰式」も同時開催した。さらに、展示会スペシャルサポーターの協力により、初のノベルティグッズの製作・配布も初めて実施した。



■プログラム

- ・第3回 社会課題の解決を支えるICTサービス大賞 表彰式
- ・オープニングトーク、出展者によるサービス紹介
オープニング：迫りくるNPOのモデルチェンジと事業承継問題
登壇：松本 祐一(NPOサポートセンター 代表理事)
- ・展示会：NPO向けサービス提供者によるブース出展、個別相談会
- ・NPO支援サービス提供者によるセミナー、ユーザーNPO活用事例の紹介、NPO業務担当者交流会(Meetup)



■出展企業・団体名 (40社)



株式会社エニシフルコンサルティング / リタワークス株式会社 / 株式会社セールスフォース・ドットコム / 株式会社ファンドレックス / 株式会社STYZ / TMコミュニケーションサービス株式会社 / 株式会社ソノリテ / 株式会社 GoodMorning / 株式会社朝日新聞社 / 株式会社 リリー / 日本

政策金融公庫 / 株式会社シャノン / 株式会社ガハハ / 佐賀県 / サイボウズ株式会社 / 認定NPO法人サービスグラント / ワークスモバイルジャパン株式会社 / 株式会社ジョイゾー / 株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ / 株式会社 FASTER / 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 / NPO法人 GRファクトリー / NPO法人 NPOサポートセンター(B-SAPO、事業承継) / snuggle 株式会社 / 一般社団法人 Cheers / 株式会社 KDDIウェブコミュニケーションズ / 株式会社蔵守 / 株式会社ジャックアンドビーンズ / 株式会社 WORLD FESTIVAL / NPO法人 Co.to.hana / ソリマチ株式会社 / 株

株式会社オプロ / freee 株式会社 / リのは綜合法律事務所 / NPO 法人日本 NPO センター / NPO 法人ジービーパートナーズ / NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 / GMO クラウド株式会社 / 一般財団法人 非営利組織評価センター / NPO 法人 Social Value Japan / 株式会社ニコシス / 熱海温泉老舗旅館 法悦

(3) NPO 支援サービス紹介サイト「N コレ！ - NPO 支援コレクション」運営

NPO 支援サービスをまとめた紹介サイト「N コレ！ - NPO 支援コレクション」を運営。「事業戦略」、「広報」、「資金調達」、「組織・人材」、「財務・会計」、「トレーニング」などのテーマごとに、NPO を支援するサービスを集めた国内最大規模の紹介サイト。NPO の代表・リーダーから現場スタッフ、ボランティア、プロボノの方々に役立つサービスの紹介をおこなっている。現在 100 以上のサービスを掲載。2019 年度は PR 記事に加えて、NPO による具体的なサービス活用事例記事の制作および掲載に注力した。また台風 19 号の甚大な被害状況を受け、復興活動を行う組織・団体を支援するサービスのまとめ記事も掲載した。



◆「N コレ！ - NPO 支援コレクション」サイト URL : <https://npo-sc.org/ncolle/>

■ まとめ記事掲載 (2 記事)



#令和元年台風第 19 号 災害復興に携わる組織・団体を支援するサービスのまとめ



この NPO の ICT 活用がすごい！2018、2019 年間ファイナリスト NPO11 団体 #NPO にもっと IT を

■ PR 記事掲載（6 記事）



【サイボウズ株式会社】チャリティーサンタの働き方改革 | 第2回 NPO による ICT サービス活用自慢大会 大賞受賞記念インタビュー



【株式会社 activo】社会貢献したい人を惹きつける web サービス！ 月間 7,000 名の応募が集まるボランティア募集サイト「activo」



【株式会社エニシフルコンサルティング チーム GOEN】創業者が培った 1,000 名以上の支援者様ネットワークを可視化する！学校法人の支援者管理アプリ GOEN DRM 活用事例



【NPO サポートセンター B-SAPO】事務作業の運用代行に留まらない課題解決のパートナー | 認定 NPO 法人 ACE の NPO バックオフィスサポートサービス導入事例



【株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ】異業種からの良質なインプットを得て、仲間同士でレベルアップ！非営利のための新しい学びの場「NPO インプットサロン」



【NPO サポートセンター B-SAPO】専門性のある外部のサポートを活用し、本来注力すべき事業に集中する | NPO 法人となりのかいごの NPO バックオフィスサポートサービス導入事例

（4）個別サービスの普及支援

i) クラウド名刺管理サービス Sansan 普及サポート

■ サービス概要

「名刺を企業の資産に変える」をコンセプトに、社内に眠る名刺をデジタル化し、人と人のつながりを情報として可視化・シェアできる世界初の法人向けクラウド名刺管理サービス。名刺をスキャナやスマホアプリで読み取るだけで、入力オペレーターにより名刺情報が正確にデータ化され、クラウド型アプリケーションを通して組織内で名刺情報を共有できる。

■ サポート内容

- ・NPOプラン適用の非営利組織「審査業務」運用サポート
- ・NPOプラン検討団体のメール問い合わせ対応
- ・首都圏のNPOへの周知業務
- ・NPO向けプランの内容、運用に関する助言、情報提供



ii) クラウド会計ソフト freee 普及サポート

■サービス概要

クラウド会計ソフト freee は、専門知識なく、クラウドで利用できる会計ソフト。NPO 法人特有の会計処理も「freee NPO キット」と一緒に利用することで簡単に行うことが可能。導入 NPO 法人は 4,000 社を超える。

■サポート内容

・NPO サポート特設 web サイトの制作、運用

Web サイト掲載内容：サービス紹介、セミナー・イベント告知・報告、NPO による活用事例の紹介など。



iii) セルフ型リサーチサービス Questant（クエスタント）・ミルトーク普及サポート

■サービス概要

株式会社マクロミルが提供する「Questant」「ミルトーク」は、ウェブ上で会員登録するだけで、調査会社を経由せず利用団体自身でリサーチが行えるサービス。利用団体の保有リスト先に直接アンケート調査が可能となるセルフアンケートツール「Questant」、およびマクロミルモニタに対してウェブ掲示板を作り、生活者の生の意見を集めることができる「ミルトーク」の2ツールをNPO向けに特別価格で提供。NPO



はこれらのサービス活用により、団体で抱える課題の可視化や仮説検証をスピーディーに行うことができる。

■サポート内容

- ・NPOサポート特設webサイトの制作、運用
- ・NPOプラン検討団体からのメール問い合わせ対応
- ・首都圏のNPOへの周知業務
- ・マクロミル社の社会貢献活動プログラム「Goodmill」運営事務局への助言、情報提供

4.4 社会課題解決型シェアオフィスの運営

2017年6月より運営を開始した、社会課題に取り組む事業や、その事業を支援する組織のためのシェアオフィス「コラボオフィス mingle(ミングル)」の運営を実施。入居団体によるセミナーも年間50回以上開催。

《主な入居団体》



4.5 N女プロジェクト

2014年度に開始した、経済的・精神的に自立した女性を増やすことを目的とした事業。N女(※)がジェンダーにまつわる課題や、女性が活動したり働いたりするうえでの課題を、活動分野の垣根を超えて連携・協働し、事業を通じて解決するプロジェクトを実施している。2019年度は、以下を実施した。

(※)N女とは、NPOやNGO、社会的企業など、社会貢献分野で働いたり活動したりしている女性たちの総称である。

(1) 「N女」を通じたソーシャルセクターで働く女性たちの普及啓発

■ゲスト・講師派遣

・中央区100人カイギ Vol.2

中央区に在住・在勤の方を対象に、N女が生きづらさをどのようにして仕事や活動につなげてきたか、またN女プロジェクトの活動内容について話題提供した。

【日時】2019年7月26日(金) 19:00-21:00

【主催】中央区100人カイギ

【参加】約80名

■メディア掲載

- ・2019年8月15日掲載 不登校新聞「帰国子女から不登校になった私 周囲は気づかなかった心のダメージ」記事掲載
- ・2019年10月30日掲載 STARRY FUTURE「ジェンダーに向き合って辿り着いたN女」記事掲載

(2) 女性に関する課題の解決に向けた取組み

■女性の経済的自立を後押しするプラットフォーム「RENEW」(リニュー)の立ち上げ

2019年8月、株式会社KDDIウェブコミュニケーションズと協働で、不安定な就労状況にあり、生きづらさを抱えた女性たちに「スキル」「コミュニティ(仲間)」「ワーク(仕事)」の3つを提供し、経済的自立を後押しすることを目的とした本プラットフォームを立ち上げた。2019年9月には、キックオフとして2日間のイベントを開催した。

<キックオフイベント概要>

【日時】第1回 2019年9月24日(火)19:00-22:00

第2回 2019年10月8日(火)19:00-22:00

【会場】NPO サポートセンター

【主催】NPO サポートセンターN女プロジェクト

【共催】株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ

【協力】任意団体 ALT

【内容】講義、トークセッション、ワークショップ、ジンドゥーを活用したホームページ作成実践

【講師】・杉原志保(NPO 法人 NPO サポートセンター N女プロジェクト、任意団体 ALT)

・田中エミ(StudioTAGAN、IT コンサルタント)

・佐藤祥子(NPO 法人 NPO サポートセンター N女プロジェクト、任意団体 ALT)

・志鎌真奈美(Shikama.net 代表/JimdoExpert)

【参加者】8名



5. 雇用創出・職業紹介事業

5.1 東京しごと財団「NPO 法人と人材のマッチング調査」委託事業

公益財団法人東京しごと財団が5年毎に実施する東京都内のNPO法人における雇用や労働環境等の調査事業(2005年3月が第1回、今回が第4回目)を受託し、実施した。刻々と変化するNPO法人に関わる人材の状況について正確に把握し、NPOセクター内で共有し東京都としての支援施策等の検討に役立てることを目的として行った。

●主な調査事項

調査回答団体の概要、雇用環境、職員の採用・退職状況、多様な働き方への対応状況など

●調査方法

郵送(送付、回収)によるアンケート調査

●調査対象

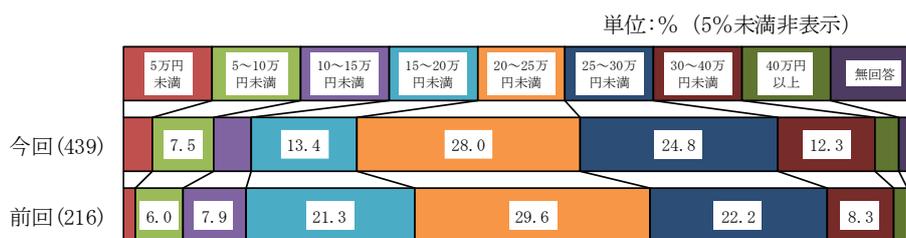
2019年11月末時点で東京都に主たる事務所があるNPO法人9,315団体(有効回答率:12%)

●調査結果(一部抜粋)

【常勤職員(有給で週30時間以上の勤務する職員)の平均給与】

2015年実施の前回調査結果と比較して、常勤職員の平均給与額が増加傾向にある。20万円未満までの割合が減少する一方、「25～30万円未満」が2.6ポイント、「30～40万円未満」4.0ポイント、「40万円以上」1.1ポイントと割合が増加し、給与面での雇用環境の改善がみられる。

常勤職員の平均給与額比較

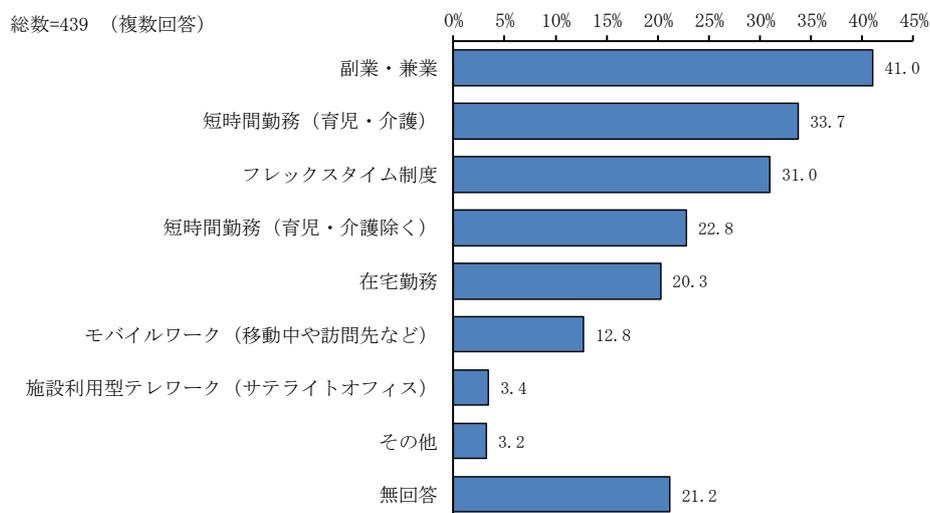


(注)5%未満数値:今回(3.6 4.8 3.0 2.5)前回(1.4 1.9 1.4)

【多様な働き方の施策】

「副業・兼業」を導入している団体が41.0%と最も多かった。以降は「短時間勤務(育児・介護)」が33.7%、「フレックスタイム制度」が31.0%、「短時間勤務(育児・介護除く)」が22.8%となり、働く時間に関する施策導入が進みつつある一方、在宅勤務、モバイルワーク、施設利用型テレワークなどの勤務場所に関する施策は、まだ導入がそれほど進んでいない傾向が分かった。

多様な働き方に対応する施策



6. その他

6.1 講師派遣・委員等

【講師・登壇者派遣】

■2019年6月24日

タイトル: 中小企業診断士対象「NPO・ソーシャルビジネス支援の実際」

主催: Enhance Partners

■2019年7月1日

タイトル: 「グッドガバナンス評価員」養成研修【基礎研修】

主催: 一般財団法人 非営利組織評価センター

■2019年7月3日

タイトル: 市民活動専門講座第3回 NPOのためのバックフィス講座

主催: 府中市市民活動センター プラッツ主催

■2019年9月18日

タイトル: 「中小企業診断士 実務従事ポイントNPO法人等対象化」キックオフイベント

主催: 東京都中小企業診断士協会認定研究会 ソーシャルビジネス研究会

■2019年11月22日

タイトル:NPO・非営利団体向けプログラムセミナー「salesforceセミナー」

主催:NPO・ボランティアサロンぐんま

■2019年11月29日

タイトル:2019年度 八王子 NPO パワーアップ講座「NPOを支えるお金」-概要編-

主催:八王子市市民活動支援センター

■2019年12月8日

タイトル:2019年度 NPO 支援講座「審査員体験から学ぶ助成金申請書の書き方」

主催:八王子市市民活動支援センター

■2019年12月13日

タイトル:2019年度 八王子 NPO パワーアップ講座「NPOを支えるお金」-実践編-

主催:八王子市市民活動支援センター

■2019年12月23日:

タイトル:2020年代の環境NPOの仕事ゼミ(第1回)～バックオフィス支援の最前線

主催:NPO 法人よこはま里山研究所(NORA)

■2020年1月17日:

タイトル:2020年代の環境NPOの仕事ゼミ(第2回)～連携・グループ化と事業承継の可能性

主催:NPO 法人よこはま里山研究所(NORA)

【その他 委員等】

■2019年度

「アドバンスド評価マニュアル作成ワーキンググループ」アドバイザー委員

主催:一般財団法人 非営利組織評価センター

■2019年9月20日

2019年度かわさき市民しきん「あとおし」選考団体審査会

主催:公益財団法人かわさき市民しきん

■2020年3月20日

令和2年度 府中市市民提案型市民活動支援事業助成金「公開プレゼンテーション審査員」

主催:府中市市民活動センター運営グループ

以上